

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書（中間評価書）

平成22年 9月15日

計画の名称	1 鹿島市における下水道普及処理人口の拡大の実現		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	鹿島市
計画の目標			

鹿島市において、健康で快適な生活環境の確保と有明海など公共水域の保全を図るとともに、鹿島市浄化センターでの汚泥処理の効率化を推進させ、また、市街地での浸水被害の防止を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・下水道処理人口普及率を26.1% (H21末) から33.0% (H25末) に向上させる。
- ・床下浸水の被害戸数のうち、未だ床下浸水の恐れがある戸数を、30戸 (H21末) から0戸 (H25末) に減少させる

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値			備考		
当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	(定量的指標の採用年度)		
			当初	中間	最終
26.1 %	31.0 %	33.0 %	H21末	H23末	H25末
30 戸	30 戸	0 戸	H21末	H23末	H25末

- $$\text{下水道処理人口普及率} = \frac{\text{下水道を利用できる人口 (人)}}{\text{総人口 (人)}} \times 100$$

- ・都市浸水対策を実施すべき区域内において床下浸水を受けた家屋のうち、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して依然として床下浸水被害を受ける可能性のある家屋数。

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,117 百万円	A	1,054 百万円	B	0 百万円	C	63 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	5.6%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	--------	---------------------------	------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
鹿島市にて実施	平成28年度（平成28年12月）
	公表の方法
	鹿島市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A1-1-1	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	汚水	新設	納富分汚水幹線整備（未普及対策）	A=18.1ha	鹿島市						205	
A1-1-2	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	汚水	新設	小舟津汚水幹線整備（未普及対策）	L=45m	鹿島市						105	
A1-1-3	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	汚水	新設	小舟津汚水幹線整備（未普及対策）	A=18.2ha	鹿島市						303	
A1-1-4	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	汚水	新設	馬渡汚水幹線整備（未普及対策）	A=0.1ha	鹿島市						20	
A1-1-5	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	汚水	新設	井手分汚水幹線整備（未普及対策）	A=2.0ha	鹿島市						31	
A1-1-6	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	処理場	新設	鹿島市浄化センター汚泥処理棟新設（資源循環）	建築・機械・電気	鹿島市						374	
A1-1-7	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	雨水	新設	中牟田第一雨水幹線整備（浸水対策）	L=64m	鹿島市						16	
											合計					1,054	

B 関連社会資本整備事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
											合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 效果促進事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
C1-1-1	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	新設	納富分汚水幹線枝線整備	A=2.5ha	鹿島市						28	
C1-1-2	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	新設	小舟津汚水幹線枝線整備	A=1.6ha	鹿島市						29	
C1-1-3	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	新設	馬渡汚水幹線枝線整備	A=0.1ha	鹿島市						2	
C1-1-4	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	新設	井手分汚水幹線枝線整備	A=0.1ha	鹿島市						4	
										合計					63	

番号	一体的に実施することにより期待される効果					備考
C1-1-1	基幹事業と一体的に整備行うことにより、下水道処理人口普及率の増加が期待でき、また、良好な環境を創造することができる。					
C1-1-2	基幹事業と一体的に整備行うことにより、下水道処理人口普及率の増加が期待でき、また、良好な環境を創造することができる。					
C1-1-3	基幹事業と一体的に整備行うことにより、下水道処理人口普及率の増加が期待でき、また、良好な環境を創造することができる。					
C1-1-4	基幹事業と一体的に整備行うことにより、下水道処理人口普及率の増加が期待でき、また、良好な環境を創造することができる。					
※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。						
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・ 下水道処理人口普及率が26.1%から32.8%となり、下水道を使用できる人が8,280人から10,032人となり、1,752人増えた。 ・ 床下浸水の被害想定戸数が、30戸から0戸に減少した。				
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（下水道処理人口普及率）	最終目標値	33.00%	目標値と実績値に差が出た要因	厳しい財政状況で事業費を十分に確保出来なかったため、事業の進捗に遅れを生じた。今後は人口減少等の社会状況を踏まえ、下水道の整備が必要となる区域の適切な設定を行い事業を進めていく。	
		最終実績値	32.80%			
	指標②（床下浸水想定戸数の減少）	最終目標値	10年確立降雨に対する床下浸水戸数 0戸	目標値と実績値に差が出た要因	最終目標を達成することができた。	
		最終実績値	10年確立降雨に対する床下浸水戸数 0戸			
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)						
3. 特記事項（今後の方針等）						
平成22年度から平成26年度までの5年間で社会資本総合整備計画による下水道事業を行い、定量指標はほぼ達成することが出来た。今後も汚水の未普及対策と雨水による浸水対策を進めていくと共に、終末処理場や管渠について長寿命化（ストックマネジメント）計画を策定し、計画的な改築等に努め、安全・安心なまちづくりに取り組んでいきたい。						

(参考図面)水の安全・安心基盤整備

計画の名称	鹿島市における下水道普及処理人口の拡大		
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)	交付対象	鹿島市

